

2021/12/5 上今泉防災フェス 2021 へ参加・協力(非常食やトイレなど)

上今泉連合自治会は、12月5日(日)10時～13時、上今泉コミセンで「上今泉防災フェス2021」を開催した。当日の参加者は260人であった。海老名災ボラはコミセン内のレクリエーション室に4つのブース(災害食・非常食、災害時の水洗トイレの活用、海老名市ハザードマップ)を出し各ブースに会員を2～4人配置し、展示と説明を行った。



「災害時におけるトイレの活用」

〈災害時における水洗トイレの活用方法〉

大規模な災害が起こると、電気・ガス・水道が止まり、水洗トイレが使えなくなることがある。

水を流さずに水洗トイレを利用する方法を説明した。事前に用意した大きなゴミ袋で水洗トイレの便器を覆い、液体を凝固する薬剤などを入れ、一定量に達したら、別の場所に保管するという方法である。このブースには、多くの人が集まり、関心の高さを示していた。



「災害時の非常食」

〈災害時の非常食の準備と調理〉

災害時には物流が止まることがある。そうした時に、水と食糧を備蓄しておく必要がある。卓上コンロと鍋、水、食糧品があれば、温かい食事を作ることができる。ここも、多くの人が集まっていた。

〈家具転倒防止と停電時の照明器具展示〉

大きな地震で家具が転倒して、大けがをする定の仕方などを模型で説明した。

その隣では、停電時に使える多様な照明器具を展示した。



「家具転倒防止」と「停電時に使える照明」

〈ハザードマップの説明〉

地震、洪水、土砂崩れなどが起った場合、市内のどこにどのような危険があるか、避難所はどこかなどを記載したハザードマップを展示し、説明員が立ち寄った人に説明した。ハザードマップへの関心は高くはなかった。